

教育委員会12月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和5年 11月 29日（水） 午後3時から午後3時25分まで
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 丸 山 陽 一
同職務代理者 近 藤 守
委 員 塚 田 まゆり
委 員 茅 野 理 恵
- 4 説明のために会議に出席した者
教 育 次 長 藤 澤 勝 彦
教 育 次 長 勝 野 学
教育次長副任兼
学校教育課長 前 島 卓
教育次長副任兼
家庭・地域学びの課長 野 池 達 朗
総 務 課 長 北 島 克 彦
保健給食課長 山 口 恭 司
文化財課長 石 坂 陽 子
学校支援官 酒 井 好 和
総務課長補佐 穂 川 さゆり
学校教育課
指導主事 滝 澤 圭 介
- 5 書 記 総 務 課
庶務担当係長 児 島 真 季

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

委員の皆様には、先月14日に、金沢市の石川県立図書館への視察にご参加いただき感謝申し上げます。この図書館は、2022年7月にオープンした非常に新しい施設である。写真等で拝見していたが、実際に館内に足を踏み入れると、吹き抜けの天井を中心に曲線を描く円形劇場のような配置となっており、その壮観さに圧倒された。また、洗練されたデザインは館内の至る所に工夫があり、読書を楽しむのはもちろんのこと、石川の伝統文化や食文化に触れることができるスポットとして、観光でも楽しむことができる魅力ある図書館であった。本市も、今後、市立図書館の在り方を検討していく上で、石川県立図書館の基本的なコンセプトや様々なエッセンスは大変参考になるものであり、有意義な視察であったと思う。

来年4月に開所予定の教育支援センターSaSaLANDの準備状況であるが、施設面においては外構フェンス等の据付けが終わり、現在は、校舎の雨漏り修繕やトイレの改修を行っている。年明け1月上旬には作業が終わる予定である。運営面では、1月からスタッフ体制を整え、開所に向けての研修を行っていく予定である。1月下旬には、通所を希望する児童・生徒、保護者への現地説明会の開催を予定しており、申込みを開始したところ、開始3日で65組の参加希望があり、SaSaLANDへの関心の高さ、期待の大きさを感じている。いずれにしても、SaSaLANDが安心して安全な居場所と感ずるかどうかは、子どもたちが決めることであるので、今後も子どもたちの声を十分に聴きながら、居場所づくりに取り組んでまいりたい。

学校におけるインフルエンザの状況であるが、依然、流行が続いており、本日の昼現在で、小学校17校、中学校3校で学級閉鎖等の措置が講じられている。引き続き感染予防対策を徹底してまいりたい。

<一般行政報告>

報告1号「冬期成人式の実施予定について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・対象者は3,201人
- ・今年度から冬期成人式については、以前から御意見のあった、私立学校に通学していたり転居したり、現在の居住地以外の地区にゆかりのある方については、希望の地区に出席できるよう、各公民館において対応していただいている。
- ・1月7日に長野市芸術館で行われる7館合同成人式については、まだ招待通知は出していないが、今現在、居住地以外からの出席希望者は59人、信大附属長野中学校など、複数の中学校がある朝陽地区は15人、今後、案内状の送付に伴い、希望者が増えると推測される。
- ・人口減少や少子化の影響により、地区ごとの開催が難しい状況も想定されることから、伝統ある成人式のより良い開催方法について、新成人や市内の高校生・大学生へのアンケートを行い、それを基に地域との議論を重ねながら、合同開催の是非や時期等を模索していきたい。
- ・今後も伝統ある成人式は継続していくが、冬期成人式終了後、「二十歳の同窓会」として、二十歳を迎える者が、地域を越えて一堂に集える機会を新たに設けることができなにかについても研究をしている。

委員 ぜひ、「オール長野」で、同じ年代の方々が一堂に会し、長野を背負っていくという思いを共有し、進学した県外から長野に戻ってきていただける固い団結ができ

るような成人式の開催を期待する。

委員 歴史的経過から見ると、長野市では、合併前の地区で成人式を行っている。できるだけ早く、1つの長野市だという意識が持てるようにして行ってほしい。そういった意識を持つ最初の機会となると思うので、会場が芸術館でなくとも、検討して行ってほしい。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長

芸術館の座席数は1,292席。今年度の冬期成人式の対象者数で考えると、その約7割の2,000人ほどの会場を確保しながら検討していくことになるかと思う。

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島総務課長）

主催事業1件、共催事業0件、後援事業21件（賞状交付1件）

○公益財団法人スペシャルオリンピックス日本からの感謝状贈呈について（滝澤指導主事）

第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナル大会が11月18日、19日にホワイトトリングで行われた。その大会に向け、令和の日本型学校体育構築支援事業の取組を、スポーツ庁から委託されたスペシャルオリンピックス日本事務局と、長野市教育委員会が連携して行った。これは、障害の有無にかかわらず共に学ぶ体育の授業の充実を図るもので、緑ヶ丘小学校と川中島小学校の5年生を対象に、8月からフロアボールを教材として15時間程度行い、誰もがスポーツを楽しめることについての学びを深めた。この取組に対し、感謝状が贈呈されたものである。

○読売新聞社主催こども作文コンクール大賞受賞について（勝野教育次長）

・湯谷小学校6年生の作品が大賞を受賞した。

丸山教育長

21,628作品の中から、大賞3作品が選ばれた。

委員 応募は学校全体とするのか、個人で行うのか。

勝野教育次長

今回の応募については不明であるが、学校単位、クラス単位、個人、それぞれである。

次回以降の日程確認（北島総務課長）

1月定例会	1月9日（火）午後3時	教育委員会室
2月定例会	1月31日（水）午後1時	教育委員会室

定例会後、総合教育会議を予定

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員